

令和 2 年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

夢を耕し続ける、女性農業経営者

○氏名又は名称 栗本 めぐみ

○所在地 静岡県御前崎市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

御前崎市は、静岡県の南端に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前埼灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など自然に恵まれた地域である。北部の牧之原台地では茶の生産、平野部では稲作や畜産、臨海部砂地では施設園芸や露地栽培等の取組が行われている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

非農家出身の栗本氏は、自身が高校生の時に抱いた「農業をやりたい」という夢を実現するため、東京農業大学卒業後、一般企業で農業の現状やマネジメント等を学び、その後県の新農業人支援事業を活用し、いちご農家として就農した。1年目から1,000万円以上という売上目標を実現するとともに、4年目には経営規模を15aから22aへと拡大し、スタッフの雇用を開始した。年間労働時間を1,800時間以下に抑えながらも、安定的に経営している。

・受賞者の特色

(1) 本物の美味しさを共に創り上げる

いちごの生理生態を理解し、データに基づく生産を行うことで、天候や自然災害に大きく左右されることなく、安定した高収量、高品質ないちごの生産を実現し、地域の品評会において連続入賞を続けている。また地元の洋菓子製造販売会社等と共同で商品を開発、遠方からも買い物客が訪れる大ヒット商品になっている。

(2) 女性の活躍

人もいちごも心地よい衛生的な環境と職場環境を目指して心配りし、常に作業改善に取り組んでいる。作業日程や目標の見える化、安全安心ないちご作りのための情報の掲示、福利厚生の実施等女性が働きやすい環境づくりを徹底している。交換日記方式の作業日報などでスタッフの意識を共有し、人を育み、共に成長する仕組みづくりに努め続けている。

・普及性と今後の発展方向

品評会で金賞を受賞する氏の経営は、新規就農者をはじめ地域の農業者の目標となっている。また、就農希望者を受け入れて作業日誌や模擬経営など丁寧な研修を行い、今年初めての新規就農者を送り出すなど、人材育成にも尽力している。持続可能な農業を実現するために、「人を育てる」「人を大切にする」という志を持ち、自ら考え実践できる農業者を農業の現場で育てていきたいと、絶えず挑戦し続けており、女性農業経営者のロールモデルとして、更なる活躍が期待される。